

25 消費者の購売動機に関する研究（第4報）

実践女子短大 海津美代子

調査対象は実践女子学園高等学校生徒の家庭500世帯の家庭の主婦であって、これらを更に職業別、収入階級別、主婦年齢別に分類して、被服類購入に関する動機の総合的な評価を行った。即ち被服類の購入に関して常に根本的な問題となるであろうと思われる諸要因を、価格、購入時期、購入場所、色、形、材料、体にフィットする度合、セールスマンによるすすめられ方等々8種類に区分して各要因についての購入意識の高さを三階級に分類し、上級を1点、中級を0点、下級をマイナス1点として、総合点8点の場合を被服購入動機の最高とし、反対にマイナス8点の場合を最低として、調査世帯各階級の傾向を評定しようと試みたものである。